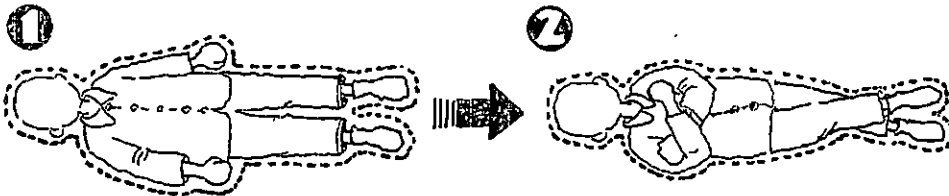


介護される人の姿勢は... ベッドでの姿勢は...

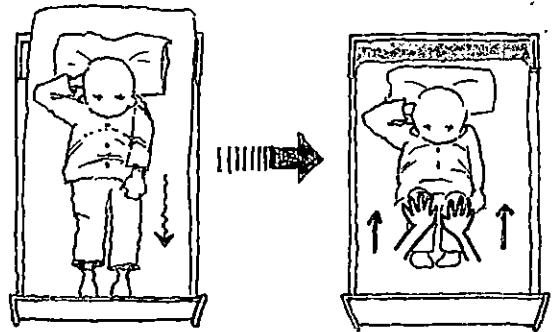
介護される人がからだをうまく動かさない時は介助します。その時、介助される人がベッドと接している部分(面積)が小さくなっていると介助する人の力が軽くてすみません。



②の姿勢(手足を中心に寄せる)にすると、ベッドとからだの接地部分が小さくなります。



③で小さくしたからだの肩と腰の部分を手前に引き寄せると横向きにすることができます。



ベッドマットの上部を立てるとからだは足元の方へずれてきます。

→まず、ベッドを平らにもどし、介助されている人のひざを立て、そこを介助する人は押しもとの位置へ、
(※この時、からだの下にスライディングシートをしくとむと楽になります。)

このスグレモノを使ってみましょう

●スライディングシート

(大) 75cm X 120cm
(小)のほかにグローブ式のものもあります



▷このシートの上にからだをのせると矢印の方向に楽に動かせます。

●スライディングボード

ベッドから車椅子へ(その反対も)の移動に使えます。



介護しやすい部屋(環境)にしよう

- ベッド回りに物を置きすぎないようにしましょう
- 介護用品は整頓しておきましょう。
- ベッドは高さの調節ができるものにしましょう。
- 車椅子のアームレストが取りはずしできるものに、または、はね上げ式のものにしましょう。
- 介護される人の身体の機能にあったベッドの向きにしましょう。

参加者の声



家の中で主人がころんだ時、そばの手すりまで大変、苦労したどりつきました。この時、このシートがあったら...と思いました。



姿勢の作り方、からだの使い方や移動の仕方など、この場を体験して本当に良かったと思いました。

問い合わせ・申し込みは... みよし市長寿介護課

0561-33-8009

NPO法人・あいちNPO市民ネットワークセンター

090-4164-1606